

ディリー・ジーザス・ニュース #187

イエスは弟子としての重要な問題について語る

貪欲の危険性

ルカ12章13-21節

13 群衆の中の一人がイエスに言った。「先生、私の兄弟に遺産を私と分けるようにおっしゃってください。」

14 イエスは答えた。「人よ、だれがわたしをあなたたちの間の裁判官または調停者に任命したのか。」15 それから彼は彼らに言った。

「私はあなた方に常に警戒するように命じます！あらゆる貪欲に対して警戒してください。神の人生は、決して財産の多さによって決まるのではありません。」

16 そしてイエスは彼らにこのたとえ話（「愚かな金持ち」）を語った。

「ある金持ちの土地は豊かな収穫をもたらしました。17 彼は心の中で思いました。「どうしよう。作物を保管する場所がない。」

18 「すると彼は言いました。「こうしよう。納屋を取り壊して、もっと大きな納屋を建て、そこに余った穀物を貯蔵しよう。19 そして私は心の中でこう言うでしょう。」何年も使えるほど穀物が備蓄されている。人生を楽にして、食べて、飲んで、楽しもう。」

20 しかし神は彼に言った。「愚か者よ！今夜、あなたの命は要求される。すると、あなたが自分のために用意したものは、だれが手に入れるだろうか。」

21 「自分のために物を蓄えても、神に対して富まない者は、このようになる。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ =^{MT}、マーク=^M、ルカ=^L、ヨハネ=^J、使徒行伝=^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体**はイエスの言葉を示します。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト

位置	ユダヤのどこかで何千人の群衆に語りかける
タイムライン	10月または11月（33、34か月目）
イエスの生涯の文脈	第六段階：イエスの後期ユダヤ教宣教

ディリー・ジーザス・ニュース #187

	D. イエスはユダヤで宣教し、弟子たちを訓練する
	3. イエスは弟子としての重要な問題について語る
タイトル	ii. 貪欲の危険性

コメント：

偽善と同様、貪欲も弟子にとっては危険な態度です。

群衆の中の男は、イエスを自分の欲望を満たすために利用しようとしました。彼は実際にイエスに「**彼にこう言いなさい…**」と命令しました。男は「古い」考え方、つまり王であるイエスに出会う前の人々がよく考える考え方をしていたのです。

「私の幸福は、欲しいものを手に入れ、それを楽しむことにかかっている。だから、できる限り多くを手に入れなければならない。」この言葉は、イエスが「貪欲」という言葉で何を意味していたかを言い表しています。それは人生の意味と目的についての全く間違った思い込みです。現実を否定し、常に無益に終わる行為です。

真実は、私たちは三位一体の神との永遠の愛の関係を持つために創造されたということです。人生の意味と目的は、神との関係にのみあります。神は私たちを、神との正しい関係を通してすべての必要が満たされるように、そして究極的にはすべての欲求も満たされるように創造されました。覚えておいてください。イエスは「良い羊飼い」ですから、私たちは必要なものをすべて持っています。

神がまず私たちを完全に愛してくださったので、三位一体の神を愛することを人生の最優先事項とする時、私たちは宇宙で最も偉大な永遠の宝、神ご自身との親密さを得始めます。天国の天使たちは、私たちと同じようにこの「宝」を手に入れるためにどんな代償も喜んで払うでしょうが、彼らにはそれができません。尽きることなく、限りなく満たされた愛、喜び、そして平和。それは、父、子、聖霊が互いに経験し合うのと同じように、神を深く知ることの栄光のほんの氷山の一角に過ぎません。

神との可能な限り親密な愛の関係の中で生きることは、私たちが見出すこと、あるいは想像することのできない、言葉では言い表せないほど偉大な宝です。それは私たち一人ひとりに平等に開かれています。神とその約束に、偏見などありません。あらゆる被造物の中で、神を知ることの価値に匹敵するものは何もありません。絶対に！

貪欲は、創造主を創造物の小さなかけらで置き換えようとなります。貪欲には、私たち全員にとって致命的な動機となる、密接に関連する二つの問題があります。第一に、貪欲の対象である「物」は、どれほど多くても、私たちの最も深い欲求を、そして最も長く満たすことはできません。たとえ、それを手に入れる喜びを期待している時は、どれほど満たせるように見えてもです。だからこそ、愛するものを楽しむという期待は、実際にそれを手に入れた時の達成感よりも強いのです。私たちの中に残る空虚感は、私たちを決して満

ディリー・ジーザス・ニュース #187

足させない物をさらに手に入れる喜びへの期待によって、私たちの貪欲を増幅させます。これは終わりのない悪循環です。

貪欲の二つ目の問題は、私たちの良識を歪め、間違っていると分かっている行動を取らせてしまうことです。」目的は手段を正当化する」という倫理観は、私たちの脆い内なる羅針盤の方向を瞬く間に歪め、「私たちは」もっと」という貪欲な欲求を満たすために、他の状況では決して考えなかつたような行動や発言をしてしまうのです。貪欲は私たちの良識を蝕みます。

イエスは、貪欲の危険性が偽善と同じくらい有害であることを知っていました。特に物質主義の現代においては、常に警戒を怠らないことが不可欠です。偽善と同様に、私たちの罪深い性質は貪欲の無益さという形で常に私たちの内に現れます。イエスは愛と知恵をもって、あらゆる形の貪欲に対して警戒を怠らないようにと命じました。

応用：

物事は決して私たちを本当に満足させることはできません。神だけが、神ご自身の無限の豊かさで私たちを満たすことができます。そして、神はそうしてくださるのであります。

神の創造物のどの部分を神自身の代わりとしようとして危険にさらされているのでしょうか？

このことについてどうしてイエスに同意する必要があるのですか？